

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第3学年 単一Ⅱ類型		日常生活の指導			
目標	(知) 学校生活で日常的に行われる諸活動を通して、生活の自立に必要な知識や技能を身に付けるようにする。 (思) 生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、考えたことを表現しようとする。 (学) 毎日の継続した諸活動に自分から取り組み、よりよい生活習慣の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
Ⅰ学期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について」 ・言葉遣い(敬語)、係活動、周囲との関わり方 など 「給食」 ・給食の準備、手洗い、食事、片付け など 「トイレの使い方」 ・手洗い、うがい、衛生 など 「整理整頓」 ・机上整理、ロッカー、更衣室の利用 など 「教室清掃」 ・係分担、掃除の仕方 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など		(知) 登下校の挨拶を進んでしたり、持ち物の整理、片付けをしたりすることができる。暦や時計の使い方を理解する。トイレのマナーや食事のマナーを守ることができる。 (思) 場面に応じて自分で身だしなみを整えることができる。見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に分かるように伝えたり、話したりすることができる。 (学) 健康で安全な生活をするよう心掛けて行動することができる。自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとすることができる。	学級 個別	87.1
Ⅰ学期授業時数					87.1
2学期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について」 ・言葉遣い(敬語)、係活動、周囲との関わり方 など 「給食」 ・給食の準備、手洗い、食事、片付け など 「トイレの使い方」 ・手洗い、うがい、衛生 など 「整理整頓」 ・机上整理、ロッカー、更衣室の利用 など 「教室清掃」 ・係分担、掃除の仕方 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など		(知) 登下校の挨拶を進んでしたり、持ち物の整理、片付けをしたりすることができる。時計や暦の使い方を理解する。食事のマナーを守って食べることができる。 (思) 場面に応じて自分で身だしなみを整えることができる。見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に分かるように話すことができる。 (学) 健康で安全な生活をするよう心掛けて行動することができる。自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとすることができる。	学級 個別	100.5
2学期授業時数					100.5
3学期	「登校時」 ・挨拶、靴の着脱、荷物の片付け、着替え など 「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気、身だしなみ確認、先生の話 など 「集団参加や集団内の役割について」 ・言葉遣い(敬語)、係活動、周囲との関わり方 など 「給食」 ・給食の準備、手洗い、食事、片付け など 「トイレの使い方」 ・手洗い、うがい、衛生 など 「整理整頓」 ・机上整理、ロッカー、更衣室の利用 など 「教室清掃」 ・係分担、掃除の仕方 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、荷物の準備、一日の振り返り、挨拶 など 「下校」 ・挨拶、靴の着脱 など		(知) 登下校の挨拶を進んでしたり、持ち物の整理、片付けをしたりすることができる。時計や暦の使い方を理解する。食事のマナーを守って食べることができる。 (思) 場面に応じて自分で身だしなみを整えることができる。見聞きしたことや経験したこと、自分の意見等を相手に分かるように話すことができる。 (学) 健康で安全な生活をするよう心掛けて行動することができる。自分の役割を理解し、他者と協力して活動しようとすることができる。	学級 個別	46.9
3学期授業時数					46.9
総授業時数					234.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書			
高等部 第3学年 Ⅱ類型		生活単元学習	①地図「なんでもひける日本地図 新版」(成美堂書店) ②理科「小学館の子ども図鑑ブレNEOはるなつあきふゆ楽しく遊ぶ学ぶふしぎの図鑑」(小学館) ③職業家庭「職業・家庭たのしい家庭科わたしのくらしに生かす」(開隆堂出版) ④道徳「きみがいちばんひかるとき 3年」(光村図書出版) ⑤外国語「小学生の英語レッスン絵でみて学ぼう英会話」(成美堂出版)			
目標	(知) 社会の様子、働きや移り変わりについて関心と理解を深め、社会生活に必要な能力と態度を身に付ける。					
	(思) 自然の仕組みや働きなどについての理解を深め、科学的な見方や考え方を養うとともに自然を大切にすることを養う。					
	(学) 明るく豊かな家庭生活を営む上に必要な能力を身に付け、実践的な態度を育てる。					
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数	
Ⅰ 学 期	「身だしなみを整えよう」 ・アイロンの掛け方 ・ミシンの使い方 ・衣服の選び方	③	(知) ミシンの使い方やアイロンの掛け方、身だしなみについて理解をすることができる。 (思) 季節や場所に適した衣服の選び方や身だしなみについて考えることができる。 (学) 衣服の選び方や身だしなみなど、学んだことを学校生活や日常生活においても、実践しようとする態度を養う。	学級	3	
	「植物の一生」 ・植物の生長、特徴	②	(知) 植物のつくりや養分を作る働き、植物内の水の行方などを知ることができる。 (思) 植物の観察を通して、成長をまとめ、成長をするために必要なことを考えたり、表現したりすることができる。 (学) 植物を大切に扱ったり、生命を尊重したりしようとする気持ちや態度を養う。	学級	2	
	「一人で食事の準備をしよう」【調理実習】	③	(知) 食事作りの手順として献立をたて、食品の選び方や保存方法を知る。 (思) 献立をたて、適切な食品の選び方や保存方法を含めた食事計画をたてる力を養う。 (学) 家庭においても、食事の計画を日常生活においても、取り入れる態度を養う。	類型	3	
	「校外学習に出掛けよう」【校外学習】	①	(知) 公共施設の役割、利用方法、ルールやマナーについて理解することができる。 (思) 公共施設を利用する際のルールやマナーについて考え、意識しながら公共施設を利用することができる。 (学) 公共施設を利用する際のルールやマナーについて理解することで、日常生活で生かそうとする態度を養う。	類型	3	
	「外国語にふれよう」	⑤	(知) 日常でよく使われる英会話を知ることができる。 (思) 場に適した英会話を考えることができる。 (学) 友達や教師と簡単な英会話をする力を養う。	学級	2	
Ⅰ学期授業時数					13	
2 学 期	「日本について知ろう」 ・都道府県の特徴 ・地方の特産物	①②	(知) 日本の国土の概要や特色について理解することができる。 (思) 日本の国土の様子や特色を調べたり、考えたりしたことを表現することができる。 (学) 日本の国土や自然を大切にしようとする態度を養う。	学級	4	
	「校外学習に出掛けよう」【校外学習】	①	(知) 公共施設の役割、利用方法、ルールやマナーについて理解することができる。 (思) 公共施設を利用する際のルールやマナーについて考え、意識しながら公共施設を利用することができる。 (学) 公共施設を利用する際のルールやマナーについて理解することで、日常生活で生かそうとする態度を養う。	類型 学級	4	
	「一人で食事の準備をしよう」【食育】【調理実習】 ・栄養バランスを考えた昼食づくり	③	(知) 三大栄養素などについて理解することができる。 (思) 栄養バランスの取れた食事について考え、昼食を作ることができる。 (学) 栄養バランスの取れた食事をとることについて、生活の中に取り入れようとする態度を養う。	類型 学級	4	
	「主権者教育」【主権者教育】 ・選挙の仕組み ・選挙権について	④	(知) 日本で行われている選挙の種類や仕組みについて理解することができる。 (思) 自分に与えられた権利について考えることができる。 (学) 自分に与えられた権利について考え、社会と関わろうとする態度を養う。	類型	2	
	「外国語にふれよう」	⑤	(知) 日常でよく使われる英会話を知ることができる。 (思) 場に適した英会話を考えることができる。 (学) 友達や教師と簡単な英会話をする力を養う。	学級	1	
2学期授業時数					15	
3 学 期	「校外学習に出掛けよう」【校外学習】	①	(知) 公共施設の役割、利用方法、ルールやマナーについて理解することができる。 (思) 公共施設を利用する際のルールやマナーについて考え、意識しながら公共施設を利用することができる。 (学) 公共施設を利用する際のルールやマナーについて理解することで、日常生活で生かそうとする態度を養う。	類型	3	
	「租税について学習しよう」		(知) 税金の集められ方や使われ方について理解することができる。 (思) 税金の集められ方や使われ方について調べたり、考えたりすることができる。 (学) 税金について考え、学んだことを生活の中で取り入れようとする態度を養う。	類型 学級	1	
	「高校生活を振り返ろう」 ・卒業作品の制作	③	(知) 高等部三年間の思い出を振り返り、卒業作品を制作することができる。 (思) 高等部三年間の思い出を振り返り、卒業作品のデザインを考えることができる。 (学) 高等部三年間の思い出を振り返り、卒業作品の完成に向けて取り組む力を養う。	学級	2	
	「外国語にふれよう」	⑤	(知) 日常でよく使われる英会話を知ることができる。 (思) 場に適した英会話を考えることができる。 (学) 友達や教師と簡単な英会話をする力を養う。	学級	1	
3学期授業時数					7	
総授業時数					35	

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第3学年		作業学習 (織り)			
単一Ⅱ類型					
目標	(知) 職業について関心をもち、将来の職業生活に必要な基本的な知識や技能を身に付けるようにする。				
	(思) 将来の職業生活に必要な事柄を見出して自分の課題に気づき、課題を解決する力を養う。 製作から販売までの流れを理解し、衛生面や丁寧さを意識して作業する態度を養う。 (学) 自分の役割について気づき、意欲や見通しをもって取り組む態度を養う。 生産活動を通して、社会とつながる喜びを味わう態度を養う。				
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数	
Ⅰ 学 期	「給食配膳・清掃(Ⅰ)」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	19.5	
	「オリエンテーション」 ・教室の使い方やルールの確認 ・使用する道具等の使い方 ・作業学習を始めるための準備等	(知) 作業学習の内容について知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動内容について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に活動する仲間と協力して活動をやり遂げようとする態度を養う。	グループ	7	
	「織り機の使い方を知る」 ・糸の掛け方 ・織り方 など	(知) 織り機の各部の名称や役割、基本的な糸の掛け方・織り方を理解し、正確に操作する技能を身に付けることができる。 織りに適した糸の選び方や織り機の安全な使い方を身に付けることができる。 一定の幅や強さで織ることができる。 (思) 糸の色や素材の組み合わせを考え、オリジナリティのある作品を工夫して製作する力を養うことができる。 織りの過程で起こる問題(糸のたるみ、色のバランスなど)に気づき、改善方法を考えることができる。 振り返り、良い点や改善点を見出し、次の製作に生かすことができる。 (学) 織りの過程を楽しみながら集中して取り組む姿勢を養うことができる。 他者と材料を共有したり、困ったときに助け合ったりする中で協力することができる。 さまりが完成した達成感を味わい、次の製作への意欲を高めることができる。	グループ	10	
	「布を織る」 ・糸掛け ・布を織る	(知) 織り機の各部の名称や役割、基本的な糸の掛け方・織り方を理解し、正確に操作する技能を身に付けることができる。 織りに適した糸の選び方や織り機の安全な使い方を身に付けることができる。 一定の幅や強さで織ることができる。 (思) 糸の色や素材の組み合わせを考え、オリジナリティのある作品を工夫して製作する力を養うことができる。 織りの過程で起こる問題(糸のたるみ、色のバランスなど)に気づき、改善方法を考える。 製品化するイメージをもちながら、幅や長さ等に留意して布を織ることができる。 振り返り、良い点や改善点を見出し、次の製作に生かすことができる。 (学) 織りの過程を楽しみながら集中して取り組む姿勢を養うことができる。 他者と材料を共有したり、困ったときに助け合ったりする中で協力することができる。 さまりが完成した達成感を味わい、次の製作への意欲を高めることができる。	グループ	50	
	「専門性の高い製品作り(Ⅰ)」 ・社会人講師による指導	(知) 専門性の高い製品作りの手順を理解し、丁寧に取り組むことができる。 素材や道具の扱い方について理解することができる。 (思) 自分の役割を理解し、必要な道具を準備したり、作業のポイントを確認したりしながら取り組むことができる。 製作を通して素材の特性に気づき、質の良い製品に仕上がるように工夫することができる。 (学) 素材や道具にも親しみをもち、試行錯誤しながら創造する喜びを味わう態度を養う。	グループ	14	
	「1学期のまとめ」 ・1学期のまとめや振り返り ・教室の整理整頓	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	3.5	
Ⅰ学期授業時数				104	
2 学 期	「給食配膳・清掃(Ⅱ)」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	22.5	
	「さまりで製品作り(Ⅰ)」 ・ヘアゴム ・コースター ・バッチ ・ネグストラップ ・小物 など	(知) ミシンや縫製道具等の使い方を理解し、基本的な操作ができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行ったり、布素材の特徴を知り、適切な材料を選んだりすることができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとすることができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	44	
	「文化祭に向けた取組」 ・店づくり ・商品の仮設め ・接客練習 など	(知) 商品の陳列や接客の基本的な方法を身に付けることができる。 接客時の基本的な言葉遣いやマナーを身に付け、適切に対応できる。 売り上げ記録や金銭管理に方法を理解し、正確に記録することができる。 (思) 店のレイアウトや商品の並べ方を工夫し、見やすく魅力的な店づくりを考えることができる。 販売活動を振り返り、良かった点や改善点を見出し、次に生かそうとすることができる。 (学) 販売活動の意欲を理解し、意欲的に取り組もうとすることができる。 自分の役割を理解し、責任をもって活動することができる。 友達と協力して目標を達成し、達成感を共有することで自己肯定感を高めることができる。	グループ	22	
	「専門性の高い製品作り(Ⅱ)」 ・社会人講師による指導	(知) 専門性の高い製品作りの手順を理解し、丁寧に取り組むことができる。 素材や道具の扱い方について理解することができる。 (思) 自分の役割を理解し、必要な道具を準備したり、作業のポイントを確認したりしながら取り組むことができる。 製作を通して素材の特性に気づき、質の良い製品に仕上がるように工夫することができる。 (学) 素材や道具にも親しみをもち、試行錯誤しながら創造する喜びを味わう態度を養う。	グループ	14	
	「さまりで製品作り(Ⅱ)」 (ビーズアートに向けて) ・カードケース ・キーホルダー ・シェジュ ・ヘアバンド など	(知) ミシンや縫製道具等の使い方を理解し、基本的な操作ができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行ったり、布素材の特徴を知り、適切な材料を選んだりすることができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとすることができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	14	
	「2学期のまとめ」 ・2学期のまとめや振り返り ・教室の整理整頓	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	3.5	
2学期授業時数				120	
3 学 期	「給食配膳・清掃(Ⅲ)」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃	(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	10.5	
	「さまりで製品作り(Ⅲ)」 (ミニフェスタに向けて) ・トートバッグ ・ポーチ ・ペンケース など	(知) ミシンや縫製道具等の使い方を理解し、基本的な操作ができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行ったり、布素材の特徴を知り、適切な材料を選んだりすることができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとすることができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	41	
	「1年間の振り返り」 ・1年間の振り返りやまとめ ・教室等の整理整頓や掃除	(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	4.5	
3学期授業時数				56	
総授業時数				280	

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第3学年		作業学習 (陶芸)			
単一Ⅱ類型					
目標	(知) 職業について関心をもち、将来の職業生活に必要な基本的な知識や技能を身に付けるようにする。				
	(思) 将来の職業生活に必要な事柄を見出して自分の課題に気づき、課題を解決する力を養う。 製作から販売までの流れを理解し、衛生面や丁寧さを意識して作業する態度を養う。 (学) 自分の役割について気づき、意欲や見通しをもって取り組む態度を養う。 生産活動を通して、社会とつながる喜びを味わう態度を養う。				
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「給食配膳・清掃（１）」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃		(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	19.5
	「オリエンテーション」 ・教室の使い方やルールの確認 ・使用する道具等の使い方 ・作業学習を始めるための準備等		(知) 作業学習の内容について知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動内容について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に活動する仲間と協力して活動をやり遂げようとする態度を養う。	グループ	7
	「製品作り」 ・丸皿 ・四角皿など		(知) 成形板やたたら板、伸ばし棒等の使い方を理解し、基本的な操作ができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行ったり、素材の特徴を知り、適切な材料や道具を選んだりすることができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとすることができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	35
	「文化祭に向けた製品作り」 ・丸皿 ・四角皿 ・茶わん ・茶味皿など		(知) 土の種類や特徴を理解し、製作物に応じて適切な材料や道具を選び、加工する技術を身に付けることができる。 製作の手順を理解し、正確に作業を行うことができる。 道具の安全な使い方を身に付け、適切に使用することができる。 (思) 製作物のデザインやサイズを考え、自分なりに工夫しようとすることができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	25
	「専門性の高い製品作り（１）」 ・社会人講師による指導		(知) 専門性の高い製品作りの手順を理解し、丁寧に取り組むことができる。 新しい素材や道具の扱い方について理解することができる。 (思) 自分の役割を理解し、必要な道具を準備したり、作業のポイントを確認したりしながら取り組むことができる。 製作を通して素材の特性に気づき、質の良い製品に仕上るように工夫することができる。 (学) 扱ったことのない素材や道具にも親しみをもち、試行錯誤しながら創造する喜びを味わう態度を養う。	グループ	14
	「1学期のまとめ」 ・1学期のまとめや振り返り ・教室の整理整頓		(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	3.5
Ⅰ学期授業時数					104
2 学 期	「給食配膳・清掃（２）」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃		(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	22.5
	「様々な種類の土や釉薬を使った製品作り」		(知) 五斗土、黒陶土、赤土などの特徴を理解し、道具（成形板、石膏、ろくろ）等の使い方や安全な取り扱い方を身に付けることができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行ったり、素材の特徴を理解し、適切な材料や道具を選んだりすることができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとすることができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	37
	「文化祭に向けた製品作り」 ・道のみ茶わん ・マグカップ ・コップ ・箸置きなど		(知) 素材の特徴を理解し、製法や道具の安全な取り扱い方を身に付けることができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行うことができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとすることができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。 様々な素材を使用した製品を製作することで、自分の得意な作業や作りたい製品を見つけようとする態度を養う。	グループ	21
	「文化祭に向けた取組」 ・店づくり ・製品の包装 ・接客練習 など		(知) 商品の陳列や接客の基本的な方法を身に付けることができる。 接客時の基本的な言葉遣いやマナーを身に付け、適切に対応できる。 売り上げ記録や金銭管理の方法を理解し、正確に記録することができる。 (思) 店のレイアウトや商品の並べ方を工夫し、見やすく魅力的な店づくりを考えることができる。 販売活動振り返り、良かった点や改善点を見出し、次に生かそうとすることができる。 (学) 販売活動の意義を理解し、意欲的に取り組もうとすることができる。 自分の役割を理解し、責任をもって活動することができる。 友達と協力して目標を達成し、達成感を共有することで自己肯定感を高めることができる。	グループ	22
	「専門性の高い製品作り（２）」 ・社会人講師による指導		(知) 専門性の高い製品作りの手順を理解し、丁寧に取り組むことができる。 新しい素材や道具の扱い方について理解することができる。 (思) 自分の役割を理解し、必要な道具を準備したり、作業のポイントを確認したりしながら取り組むことができる。 製作を通して素材の特性に気づき、質の良い製品に仕上るように工夫することができる。 (学) 扱ったことのない素材や道具にも親しみをもち、試行錯誤しながら創造する喜びを味わう態度を養う。	グループ	14
	「2学期のまとめ」 ・2学期のまとめや振り返り ・教室の整理整頓		(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	3.5
2学期授業時数					120
3 学 期	「給食配膳・清掃（３）」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃		(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	10.5
	「製品作り」 ・コップ ・マグカップ ・茶わん ・小物など		(知) 土の種類や特徴を理解し、製作物に応じて適切な材料や道具を選び、加工する技術を身に付けることができる。 製作の手順を理解し、正確に作業を行うことができる。 道具の安全な使い方を身に付け、適切に使用することができる。 (思) 製作物のデザインやサイズを考え、自分なりに工夫しようとすることができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	41
	「1年間の振り返り」 ・1年間の振り返りやまとめ ・教室等の整理整頓や掃除		(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	4.5
3学期授業時数					56
総授業時数					280

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第3学年 単一Ⅱ類型		作業学習 (ハンドクラフト)			
目標	(知) 職業について関心をもち、将来の職業生活に必要な基本的な知識や技能を身に付けるようにする。				
	(思) 将来の職業生活に必要な事柄を見出して自分の課題に気づき、課題を解決する力を養う。 製作から販売までの流れを理解し、衛生面や丁寧さを意識して作業する態度を養う。				
	(学) 自分の役割について気づき、意欲や見通しをもって取り組む態度を養う。 生産活動を通して、社会とつながる喜びを味わう態度を養う。				
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「給食配膳・清掃（１）」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃		(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	19.5
	「オリエンテーション」 ・教室の使い方やルールの確認 ・使用する道具等の使い方 ・作業学習を始めるための準備等		(知) 作業学習の内容について知り、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動内容について理解し、目標をもつことができる。 (学) 一緒に活動する仲間と協力して活動をやり遂げようとする態度を養う。	グループ	7
	「ミシンを使用した製品作り」 ・ボグムティッシュカバー ・カードケース ・シュシュ など		(知) ミシンやアイロン、裁縫道具等の使い方を理解し、基本的な操作ができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行ったり、布素材の特徴を知り、適切な材料や道具を選んだりすることができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとする事ができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	35
	「紙を使用した製品作り」 ・御朱印帳 ・封筒 ・ポチ袋 ・カレンダー など		(知) 紙の種類や特徴を理解し、製作物に応じて適切な材料や道具を選び、加工する技術を身に付けることができる。 製作の手順を理解し、正確に作業を行うことができる。 道具（カッター、のり、定規など）の安全な使い方を身に付け、適切に使用することができる。 (思) 製作物のデザインやサイズを考え、自分なりに工夫しようとする事ができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	25
	「専門性の高い製品作り（１）」 ・社会人講師による指導		(知) 専門性の高い製品作りの手順を理解し、丁寧にに取り組むことができる。 新しい素材や道具の扱い方について理解することができる。 (思) 自分の役割を理解し、必要な道具を準備したり、作業のポイントを確認したりしながら取り組むことができる。 製作を通して素材の特性に気づき、質の良い製品に仕上げるように工夫することができる。 (学) 扱ったことのない素材や道具にも親しみをもち、試行錯誤しながら創造する喜びを味わう態度を養う。	グループ	14
	「1学期のまとめ」 ・1学期のまとめや振り返り ・教室の整理整頓		(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	3.5
Ⅰ学期授業時数					104
2 学 期	「給食配膳・清掃（２）」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃		(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	22.5
	「革やフェイクレザーを使用した製品作り」 ・キーケース ・キーホルダー ・ペンケース など		(知) 革やフェイクレザーの特徴を理解し、道具（革用パンチ、目打ち、金具、接着剤）の使い方や安全な取り扱い方を身に付けることができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行ったり、素材の特徴を理解し、適切な材料や道具を選んだりすることができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとする事ができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。	グループ	23
	「様々な素材を使用した製品作り」 ・輪ゴムプレスレット ・ワールのマスコット ・レジン製品 ・編み物 ・七夕焼 などから選択		(知) 素材の特徴を理解し、製法や道具の安全な取り扱い方を身に付けることができる。 製作の手順を理解し作業を正確に行うことができる。 (思) 製作物のデザインや色の組み合わせを考え、自分なりに工夫しようとする事ができる。 作業中に発生する課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 できあがった製品を評価し、次回の製作に向けた改善点を見出すことができる。 (学) ものづくりの楽しさや達成感を味わい、意欲的に作業に取り組むことができる。 自分の役割を理解し、友達と協力しながら製作活動を進めることができる。 様々な素材を使用した製品を製作することで、自分の得意な作業や作りた製品を見つけようとする態度を養う。	グループ	21
	「文化祭に向けた取組」 ・店づくり ・製品の仮決め ・接客練習 など		(知) 商品の陳列や接客の基本的な方法を身に付けることができる。 接客時の基本的な言葉遣いやマナーを身に付け、適切に対応できる。 売り上げ記録や金銭管理の方法を理解し、正確に記録することができる。 (思) 店のレイアウトや商品の並べ方を工夫し、見やうで魅力的な店づくりを考えることができる。 販売活動を振り返り、良かった点や改善点を見出し、次に生かそうとすることができる。 (学) 販売活動の意義を理解し、意欲的に取り組もうとすることができる。 自分の役割を理解し、責任をもって活動することができる。 友達と協力して目標を達成し、達成感を共有することで自己肯定感を高めることができる。	グループ	22
	「専門性の高い製品作り（２）」 ・社会人講師による指導		(知) 専門性の高い製品作りの手順を理解し、丁寧にに取り組むことができる。 新しい素材や道具の扱い方について理解することができる。 (思) 自分の役割を理解し、必要な道具を準備したり、作業のポイントを確認したりしながら取り組むことができる。 製作を通して素材の特性に気づき、質の良い製品に仕上げるように工夫することができる。 (学) 扱ったことのない素材や道具にも親しみをもち、試行錯誤しながら創造する喜びを味わう態度を養う。	グループ	14
	「生徒の企画した製品の製作（１）」 ・製作するものの調査 （調べ学習、アンケートなど） ・製作に向けた準備 など		(知) 製品企画に必要な基礎的な調べ学習の方法（アンケートの作成、集約、情報収集など）を身に付けることができる。 製作の手順を理解し、正確に作業を行うことができる。 (思) アンケート結果を元に、製品の企画やデザインの工夫を考えることができる。 製作中に課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 (学) 企画、製作、販売の一連の活動を通して、自分の役割を理解し、責任をもって取り組むことができる。 友達と協力しながら計画を進めることで、協調性やコミュニケーション力を養うことができる。	グループ	14
「2学期のまとめ」 ・2学期のまとめや振り返り ・教室の整理整頓		(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	3.5	
2学期授業時数					120
3 学 期	「給食配膳・清掃（３）」 ・給食時の配膳 ・教室等の清掃		(知) 配膳や清掃の手順や流れについて理解し、活動に見通しをもつことができる。 (思) 自分が取り組む活動を選択し、集団の中で自ら活動することができる。 (学) 仲間と協力し、効率を考えながら取り組む態度を養う。	学級	10.5
	「生徒の企画した製品の製作・販売（２）」 ・製作、販売		(知) 製品企画に必要な基礎的な調べ学習の方法（アンケートの作成、集約、情報収集など）を身に付けることができる。 製作の手順を理解し、正確に作業を行うことができる。 (思) アンケート結果を元に、製品の企画やデザインの工夫を考えることができる。 製作中に課題に気づき、解決方法を考えながら作業を進めることができる。 (学) 企画、製作、販売の一連の活動を通して、自分の役割を理解し、責任をもって取り組むことができる。 友達と協力しながら計画を進めることで、協調性やコミュニケーション力を養うことができる。	グループ	41
	「1年間の振り返り」 ・1年間の振り返りやまとめ ・教室等の整理整頓や掃除		(知) 自分が習得できた技術や目標の達成度、今後の課題について振り返ることができる。 (思) 自分の成果と課題をまとめ、表現することができる。 (学) 他者からの評価を受け入れ、今後に生かそうとする気持ちを養う。	グループ	4.5
3学期授業時数					56
総授業時数					280

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等		教科書	
高等部 第3学年 Ⅱ類型		キャリア学習		①職業家庭「ひとりだちするためのビジネスマナー＆コミュニケーション」（日本教育研究出版） ②道徳「きみがいちばんひかるとき」（光村図書出版）	
目標	(知) 社会生活に向けて、適切な集団行動をするためのスキルを身に付けるようにする。 (思) 将来の生活を見据え、必要な事柄を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。 (学) 卒業後の社会的自立の実現に向け、自分の良さや課題について振り返り、周囲の人と協働しながら改善したり、努力したりする気持ちを養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「自己認知スキルの学習」	①	(知) 自己理解チェックをして自分の性格や特徴を知ることができる。 (思) 自分の課題を知り、改善を図るために取り組むことができる。 (学) 自分の状況を理解し、自分から対応しようとする力を養う。	学級 個別	2
	「コミュニケーションスキルの学習（Ⅰ）」	②	(知) 言葉の意味や正しい文章を知り、自己の行動等に対応した言語の概念の形成を図ることができる。 (思) 言葉の意味を正しく理解し、コミュニケーションを取る中で、適切に使うことができる。 (学) 相手とのやり取りを円滑に行い、積極的にコミュニケーションを取ろうとする気持ちを養う。		4
	「マナーの学習（Ⅰ）」	①	(知) 社会人として適切な態度や言葉遣い、マナーなどについて知ることができる。 (思) 適切な態度や言葉遣いについて振り返り、自分の課題を意識することができる。 (学) 社会生活の場面に応じたロールプレイングを行うことで実践的な態度を養う。		5
	「集団参加スキルの学習（Ⅰ）身近な法律」	①	(知) 身近な法律について知ることができる。 (思) 身近な法律について理解し、社会生活を送るイメージを持つことができる。 (学) 社会生活の場面に応じた行動を意識して、生活に生かそうとする態度を養う。		2
Ⅰ 学期授業時数					13
2 学 期	「集団参加スキルの学習（２）身近な法律」	①	(知) 社会生活や職場におけるトラブルを知ることができる。 (思) 職場におけるトラブルに対処する方法や解決策について考えることができる。 (学) トラブル解決方法を意識して、生活に生かそうとする態度を養う。	学級 個別	4
	「コミュニケーションスキルの学習（２）」	②	(知) 言葉の意味や正しい文章を知り、自己の行動等に対応した言語の概念の形成を図ることができる。 (思) 言葉の意味を正しく理解し、コミュニケーションを取る中で、適切に使うことができる。 (学) 相手とのやり取りを円滑に行い、積極的にコミュニケーションを取ろうとする気持ちを養う。		6
	「将来の生活について考える（Ⅰ）」	①	(知) 卒業後の生活について知ることができる。 (思) 将来の職業生活を見据え、課題を設定し、解決策を考え、実践する力を養う。 (学) 将来の職業生活に向けて生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。		5
2 学期授業時数					15
3 学 期	「マナーの学習（２）こんなときどうする」	①	(知) 社会人として適切な態度や言葉遣い、マナーなどについて知ることができる。 (思) 適切な態度や言葉遣いについて振り返り、自分の課題を意識することができる。 (学) 社会生活の場面に応じたロールプレイングを行うことで実践的な態度を養う。	学級 個別	3
	「将来の生活について考える（２）」	①	(知) 卒業後の生活について知ることができる。 (思) 将来の職業生活を見据え、課題を設定し、解決策を考え、実践する力を養う。 (学) 将来の職業生活に向けて生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。		4
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第3学年 単一Ⅱ類型		国語科	国語「ひとりだちするための国語」（日本教育研究出版）		
目標	(知) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。				
	(思) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。				
	(学) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておの能力の向上を図る態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「漢字の学習（Ⅰ）」 ・友達へのインタビューの仕方を知る。 ・メモの取り方を知る。 ・メモをもとにまとめる。	①	(知) 日常生活や学習に必要な漢字を理解し、読み書きすることができる。 (思) 漢字を使った文章や表現を通じて、自分の考えや気持ちを表現することができる。 (学) 漢字の学習に対して主体的に取り組み、自己学習を続ける姿勢を身に付けようとする態度を養う。	学級	15.6
	「インタビューをしよう」 ・友達へのインタビューの仕方を知る。 ・メモの取り方を知る。 ・メモをもとにまとめる。	①	(知) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方など注意して話することができる。 (思) 社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。 (学) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておの能力の向上を図る態度を養う。	学級	3
	「あいさつや会話をする力を高めよう」 ・尊敬語と謙譲語を使い分ける。 ・相手の話を聞き、答える方法について知る。	①	(知) 日常よく使われる敬語を理解して使うことができる。 (思) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。 (学) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておの能力の向上を図る態度を養う。	学級	4
	「体育祭の思い出を書こう」 ・体育祭の思い出を作文等で表現する。	①	(知) 漢字と仮名を用いた構記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。 (思) 書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。 (学) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておの能力の向上を図る態度を養う。	学級	3
	「電話を活用しよう」 ・電話のマナーを知る。 ・欠席や遅刻（帰宅連絡）の連絡方法を練習する。	①	(知) 日常よく使われる敬語を理解して使うことができる。 (思) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。 (学) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておの能力の向上を図る態度を養う。	学級	3
Ⅰ学期授業時数					28.6
2 学 期	「漢字の学習（Ⅱ）」 ・作品鑑賞 ・俳句作り	①	(知) 日常生活や学習に必要な漢字を理解し、読み書きすることができる。 (思) 漢字を使った文章や表現を通じて、自分の考えや気持ちを表現することができる。 (学) 漢字の学習に対して主体的に取り組み、自己学習を続ける姿勢を身に付けようとする態度を養う。	学級	18
	「俳句を作ろう・鑑賞しよう」 ・作品鑑賞 ・俳句作り	①	(知) 生活に身近なことわざや慣用句などを知り、使うことができる。 (思) 人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておの能力の向上を図る態度を養う。	学級	5
	「文や物語を読みとうろ」 ・教科書や本を音読し、おおよその内容をつかむ。	①	(知) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。 (思) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておの能力の向上を図る態度を養う。	学級	5
	「分かれて議論しよう」 ・身近な生活の中でテーマを考える。 ・賛成意見、反対意見を考える。 ・テーマに沿って分かれて議論する。	①	(知) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。 (思) 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておの能力の向上を図る態度を養う。	学級	5
2学期授業時数					33
3 学 期	「漢字の学習（Ⅲ）」 ・毛筆の練習、書き初めをする	①	(知) 日常生活や学習に必要な漢字を理解し、読み書きすることができる。 (思) 漢字を使った文章や表現を通じて、自分の考えや気持ちを表現することができる。 (学) 漢字の学習に対して主体的に取り組み、自己学習を続ける姿勢を身に付けようとする態度を養う。	学級	8.4
	「書き初めをしよう」 ・毛筆の練習、書き初めをする	①	(知) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。 (思) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておの能力の向上を図る態度を養う。	学級	2
	「古典に親しもう」 ・かるたや百人一首、故事成語などを知る。	①	(知) 親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思) 人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておの能力の向上を図る態度を養う。	学級	3
	「思い出の作文や手紙を書こう」 ・1年間の思い出を振り返り、活動したこと、思いを表現する。 ・相手や目的など感謝の気持ちを伝える書き方を知る。	①	(知) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。 (思) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすること。 (学) 言葉がもつ良さを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておの能力の向上を図る態度を養う。	学級	2
3学期授業時数					15.4
総授業時数					77

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書			
高等部 第3学年		数学科	①数学「ひとりだちするための算数・数学」（日本教育研究出版）			
単一Ⅱ類型						
目標	(知) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。					
	(思) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。					
		(学) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数	
Ⅰ 学 期	「計算の練習をしよう」 ・基本的な四則計算	①	(知) 基本的な四則計算の概念を理解し、計算のルールを適用することができる。 (思) 四則計算を用いて問題解決に取り組み、計算結果をもとに自分の考えを表現する力を養う。 (学) 四則計算の練習に主体的に取り組み、自己学習の習慣を身に付けようとする態度を養う。	個別	10.4	
	「数と計算の学習をしよう5」 ○基本的な四則計算 ○4位（1万）までの整数の表し方 ・4位数までの数の表し方を知ること ・数の大小や順序を理解すること ・十倍、百倍1/10の大きさの数及びその表し方を知ること ○整数の四則計算 ・3位数の加法、減法、筆算 ・4位数の加法、減法、筆算 ・計算機を使用した計算 ・1位数の乗法 ・除数と商が1位数である除法の計算 ・余りの求め方が分かること	①	(知) 算を豊かにするとともに、加法、減法、乗法及び除法の意味や性質について理解し、それらの計算ができるようにする。小数及び分数の意味や表し方について知り、数量とその関係を表したり、読み取ったりすることができる技能を身に付ける。 (思) 数を構成する単位に着目して、数の表し方やその数について考えたり、扱う数の範囲を広げ、計算の仕方を見いだし、筋道立てて考えたりするとともに、日常生活の場面を数量に着目して捉え、処理した結果を場面をもとに振り返り、解釈及び判断する力を養う。 (学) 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級 個別	7	
	「図形の学習をしよう3」 (図形) ・二等辺三角形や正三角形などについて知ること ・二等辺三角形や正三角形などを作ること ・直線の平行や垂直の関係について知ること ・円の中心、半径及び直径、球の直径を知ること ・前後、左右、上下などの方向や位置を理解すること(面積) ・cm、m、kmについて知ること ・正方形、長方形などの面積の求め方について知ること(角) ・角について知ること ・角の大きさを測ること	①	(知) 二等辺三角形や正三角形などの基本的な図形や面積、角の大きさについて理解し、図形についての感覚を豊かにするとともに、図形を作図や構成したり、図形の面積や角の大きさを求めたりすることなどについての技能を身に付けるようにする。 (思) 二等辺三角形や正三角形などの基本的な図形を構成する要素に着目して、平面図形の特徴を捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、図形を構成する要素に着目し、図形の計量について考察する力を養う。 (学) 図形や数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級 個別	6	
Ⅰ学期授業時数					23.4	
2 学 期	「計算の練習をしよう」 ・基本的な四則計算	①	(知) 基本的な四則計算の概念を理解し、計算のルールを適用することができる。 (思) 四則計算を用いて問題解決に取り組み、計算結果をもとに自分の考えを表現する力を養う。 (学) 四則計算の練習に主体的に取り組み、自己学習の習慣を身に付けようとする態度を養う。	個別	12	
	「数と計算の学習をしよう6」 ○基本的な四則計算 ○小数と分数 ・小数、分数について知ること ・1/10の1の位までの小数表し方について理解すること ・1/2、1/4などの簡単な分数について知ること ○金銭 ・金種を理解すること ・計算機を使用した計算(釣銭、消費税など) ・両替 ・金銭の支払い方を知ること 簡単な実物計算を通して金銭を取り扱うこと	①	(知) 整数の概念や性質について理解を深め、数に対する感覚を豊かにするとともに、加法、減法、乗法及び除法の意味や性質について理解し、それらの計算ができるようにする。また、小数及び分数の意味や表し方について知り、数量とその関係を表したり読み取ったりすることができるようにすることについての技能を身に付けるようにする。 (思) 数を構成する単位に着目して、数の表し方やその数について考えたり、扱う数の範囲を広げ、計算の仕方を見いだし、筋道立てて考えたりするとともに、日常生活の問題場面を数量に着目して捉え、処理した結果を場面をもとに振り返り、解釈及び判断する力を養う。 (学) 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級 個別	10	
	「変化と関係の学習をしよう3」(学級、個別) (変化と関係) ○変化の様子を表や式を用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりすること ○二つの数量の関係 ・二つの数量の関係と別の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることを知ること ○時計、暦 ・時刻の読み方を理解すること ・時間、分を理解すること ・朝、昼、晩、昨日、今日、明日などを理解すること ・カレンダー	①	(知) 二つの数量の関係や変化の様子を表や式で表すことについて理解するとともに、二つの数量の関係を割合によって比べることについての技能を身に付けるようにする。 (思) 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、変化の特徴に気づき、二つの数量の関係を表や式を用いて考察しに気づき、二つの数量の関係を表や式を用いて考察したり、割合を用いて考察したりする力を養う。 (学) 数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級 個別	5	
2学期授業時数					27	
3 学 期	「計算の練習をしよう」 ・基本的な四則計算	①	(知) 基本的な四則計算の概念を理解し、計算のルールを適用することができる。 (思) 四則計算を用いて問題解決に取り組み、計算結果をもとに自分の考えを表現する力を養う。 (学) 四則計算の練習に主体的に取り組み、自己学習の習慣を身に付けようとする態度を養う。	個別	5.6	
	「数と計算の学習をしよう7」 「データを活用しよう3」 ○データを活用しよう3		(知) データを表や棒グラフ、折れ線グラフで表す表し方や読み取り方を理解し、それらを問題解決における用い方についての技能を身に付けるようにする。			

①	身の回りの事象について整理されたデータの特徴に着目し、事象を簡潔に表現したり、適切に判断したりする力を養う。 (学) データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	学級 個別	7
3 学期授業時数			12.6
総授業時数			63

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書			
高等部 第3学年 単一Ⅱ類型		音楽科	① 音楽「音楽☆☆☆☆」(文部科学省)			
目標	(知) 曲名や曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。 (思) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさを見い出しながら、音や音楽を味わって聴くことができるようにする。 (学) 主体的に楽しく音や音楽に関わり、協働して音楽活動を楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。					
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数	
Ⅰ 学 期	「みんなて歌おう」 ・学年共通曲等を覚えて歌唱する	①	(知) 歌唱の活動を通して、曲名や曲想と音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりに気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりすることができる。 (知) 器楽の活動を通して、曲想と音楽の構造との関わりや多様な楽器の音色と全体の響きとの関わりに気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりすることができる。 (知) 音楽づくりの活動を通して、いろいろな音の響きやその組み合わせの特徴やリズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴に気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりすることができる。 (知) 身体表現活動を通して、曲想と音楽の構造との関わりや曲名や歌詞と体の動きとの関わりに気付いたり、思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な技能を身に付けたりすることができる。 (知) 鑑賞の活動を通して、曲や演奏のよさなどを見い出し、曲全体を味わって聴いたり、曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて理解したりすることができる。 (思) 歌唱の活動を通して、歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつことができる。 (思) 器楽の活動を通して、器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想にふさわしい表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。 (思) 音楽づくりの活動を通して、音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ることや、音を音楽へと構成することについて、思いや意図をもつことができる。 (思) 身体表現の活動を通して、身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲想を感じ取り、体を動かすことについての思いや意図をもつことができる。 (思) 鑑賞の活動を通して、鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見い出して聴いたり、曲想と音楽の構造等との関わりについて分かること。 (学) 主体的に楽しく音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	類型 学級	2	
	「季節の歌を歌おう(春・夏)」 ・春、夏を感じることができる曲を歌唱する			2		
	「合唱に取り組もう」 ・合唱曲を歌唱する			3		
	「いろいろな楽器で楽しもう」 ・音楽に合わせて、楽器を演奏する			4		
	「鑑賞」 ・音楽を鑑賞する			2		
Ⅰ学期授業時数					13	
2 学 期	「季節の歌を歌おう(秋・冬)」 ・秋・冬を感じることができる曲を歌う ・クリスマスソングを歌う	①		類型 学級	3	
	「アンサンブルをしよう」 ・いろんな楽器を使って合奏する				11	
	「鑑賞」 ・音楽を鑑賞する				1	
2学期授業時数						15
3 学 期	「合唱に取り組もう」 ・合唱曲を伴奏に合わせて歌唱する	①			類型 学級	3
	「心を込めて歌おう」 ・卒業証書授与式で歌う曲を練習する		4			
3学期授業時数					7	
総授業時数					35	

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第3学年 単一Ⅱ類型		美術科	①美術「かこさとしつくしい絵」（偕成社）		
目 標	(知) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。				
	(思) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫について考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。				
	(学) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜び味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「工芸」 ○木材とタイルを用いた小箱作り ・デザインやテーマの検討 ・木材磨き、下準備 ・アイデアスケッチを基にした、タイルを用いた表現 ・目地塗り、仕上げ ・作品の展示、鑑賞	①	(知) タイルを貼る接着剤や目地の量を調整しながら小箱を制作することができる。 (思) 自分が作りたいものをイメージして、アイデアスケッチをし、自分でタイルの色を選んだり、貼る位置を調整したりしながら、土台にタイルを置くことができる。 (学) 制作工程を理解し、自発的に活動しながら創作する喜びを味わい、美術を愛好する心を養う。	学級	6
	「版画の制作」 ○コラグラフ版画の技法を用いた制作 ・デザインやテーマの検討 ・使用する素材の検討 ・デザイン画を基にした制作 ・作品の展示、鑑賞		(知) 素材による模様の違いや刷り方を理解し、版画を制作することができる。 (思) 表現したいことをアイデアスケッチにまとめ、仕上がりの模様をイメージしながら使いたい素材を選んで制作することができる。 (学) 制作工程を理解し、自発的に活動しながら創作する喜びを味わい、美術を愛好する心を養う。	学級	7
Ⅰ 学期授業時数					13
2 学 期	「卒業記念制作」 ○時計の制作 ・デザインの検討 ・紙粘土などを用いた飾りの制作 ・土台の制作 ・時計針や電池パックの取り付け ・作品の展示、鑑賞	①	(知) 粘土の性質を理解し、用途に合わせて選択した道具を扱って、粘土を形成することができる。 (思) 完成をイメージしながらデザイン画を描き、表現することができる。 (学) 作品作りに自発的に取り組み、創造する喜びを味わい、美術を愛好する心を養う。	学級	11
	「卒業証書授与式を花で飾ろう」 ○卒業証書授与式に向け、教室や廊下等を装飾する作品の制作 ・デザイン画や制作分担の理解 ・飾りの作成		(知) 自分が担当する部分を理解し、紙をちぎって貼ったり、絵などを描いたりして表現することができる。 (思) 学級で意見を出し、デザインや分担する場所を考えることができる。 (学) これまでの思い出を思い起こしたり、最後まで協力したりして制作する態度を養う。	学級	4
2 学期授業時数					15
3 学 期	「卒業証書授与式を花で飾ろう」 ○卒業証書授与式に向け、教室や廊下等を装飾する作品の制作 ・デザイン画を基にした表現 ・作品の展示、鑑賞	①	(知)自分が担当する部分を理解し、紙をちぎって貼ったり、絵などを描いたりして表現することができる。 (思)学級で意見を出し、デザインや分担する場所を考えることができる。 (学)これまでの思い出を思い起こしたり、最後まで協力したりして制作する態度を養う。	学級	7
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第3学年 単一Ⅱ類型		保健体育科	①保健体育「大切なからだ・こころ」（少年写真新聞社）		
目標	(知) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身に付ける。				
	(思) 各種の運動や健康の自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、友達と考えたりしたことを他者に伝える力を養う。				
	(学) 各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全の確保をしたり、自己の最善を尽くして、自主的に運動しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「体力づくり（１）」 ・準備体操 ・ランニング ・筋力トレーニング ・エアロビクス ・整理体操	①	(知) 体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地良さを味わうことができる。 (思) 自分の課題を見付け、解決できるように運動することができる。 (学) 体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営もうとする態度を養う。	類型 学級	19.5
	「体育祭の取組」 ・集合・整列 ・種目練習 ・全体練習		(知) 集団として必要な行動の仕方を身に付け、全体に合わせて正確に行動することができる。 (思) 種目練習で、道具の操作を自分で工夫したり、考えたりすることができる。 (学) 友達と協力して種目などの練習に取り組もうとする態度を養う。	学年 類型	7
	「新体力テスト」	①	(知) 自己の体力や状態を把握し、課題を見付けることができる。 (思) 体力テストの結果を基に自分の体力の状態を判断し、改善のための目標を設定することができる。 (学) 体力テストに主体的に取り組もうとする態度を養う。	類型	3
	「ニュースポーツ」 ・グラウンドゴルフ ・フライングディスク ・ボッチャ	①	(知) 友達と協力し、場や用具の安全面に気を付けて、生涯にわたってできる種目に取り組むことができる。 (思) ニュースポーツにおける自他の課題を発見し、解決のための方策を工夫したり、友達と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) ニュースポーツの多様な経験を通して、決まりやルール、マナーなどを守り、自主的に運動しようとする態度を養う。		3
Ⅰ 学期授業時数					32.5
Ⅱ 学 期	「体力づくり（２）」 ・準備体操 ・ランニング ・筋力トレーニング ・エアロビクス ・整理体操	①	(知) 体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地良さを味わうことができる。 (思) 自分の課題を見付け、解決できるように運動することができる。 (学) 体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営もうとする態度を養う。	類型 学級	22.5
	「水泳」 ・アクアビクス ・蹴伸び ・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ など	①	(知) それぞれの泳ぎ方の特性を理解し、目的に応じた泳法を身に付ける。 (思) 課題を見付け、解決の方法を工夫し、友達と考えることができる。 (学) 決まりやルール、マナーを守り、友達と協力したり、場や用具の安全を確保したりして、自主的に運動しようとする態度を養う。	類型	4
	「球技」 ・ゴール型 ・ネット型 ・ベースボール型	①	(知) 球技の特性に応じた技能を理解して身に付け、道具などを正確に扱いながら、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思) 球技における自他の課題を発見したり、解決のための方策を工夫したり、友達と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 球技の多様な経験を通して、決まりやルール、マナーなどを守り、自主的に運動しようとする態度を養う。		8
	「保健」 ・病気になったとき ・性の学習	①	(知) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付ける。 (思) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、解決のための方策を工夫したり、友達と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組もうとする態度を養う。		3
Ⅱ 学期授業時数					37.5
Ⅲ 学 期	「体力づくり（３）」 ・準備体操 ・ランニング ・筋力トレーニング ・エアロビクス ・整理体操	①	(知) 体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地良さを味わうことができる。 (思) 自分の課題を見付け、解決できるように運動することができる。 (学) 体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営もうとする態度を養う。	学級 類型	10.5
	「陸上運動」 ・長距離走 ・短距離走 ・ハードル走 ・リレー ・投てき	①	(知) 陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、技能を身に付ける。 (思) 陸上競技に関する自他の課題を発見し、解決のための方策を工夫したり、友達と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学) 陸上競技の多様な経験を通して、決まりやルール、マナーなどを守り、自主的に運動する態度を養う。	類型	7
Ⅲ 学期授業時数					17.5
総授業時数					87.5

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書			
高等部 第3学年		特別活動				
単一Ⅱ類型						
目 標	(知) より良い学校生活を築くために、お互いに理解し合った行動を身に付けることができる。					
	(思) 集団行動や活動ができるよう、自分たちで計画して実行する力を付けることができる。					
	(学) 学校生活での活動が円滑に進むように実践的な態度を養う。					
期	単元名・指導内容		単元目標		授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「学級組織作り(Ⅰ)」 ・学級組織作り ・係分担 ・Ⅰ学期の目標決め		(知) Ⅰ学期の取組内容と学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いて自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をよりよく形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。		学級	2
	「ホームルームでの取組(Ⅰ)」 ・学級活動、類型活動の計画 ・学級活動、類型活動の実施		(知) 学級における諸問題について、友達と協働して解決する大切さを理解し、解決方法を知ることができる。 (思) 学級における諸問題について、話し合いて自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。		類型 学級	9
	「学部集会(Ⅰ)」 ・新入生歓迎会		(知) 集団の中での自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 友達と協働しながら学校生活の充実のために参画しようとする態度を養う。		学部 学級	1
	「Ⅰ学期の振り返りと夏休みの生活」		(知) 集団の中での自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。		学級	1
Ⅰ学期授業時数						13
2 学 期	「学級組織作り(Ⅱ)」 ・学級組織作り ・係分担 ・2学期の目標決め		(知) 2学期の取組内容と学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いて自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をよりよく形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。		学級	2
	「ホームルームでの取組(Ⅱ)」 ・学級活動、類型活動の計画 ・学級活動、類型活動の実施		(知) 学級における諸問題について、友達と協働して解決する大切さを理解し、解決方法を知ることができる。 (思) 学級における諸問題について、話し合いて自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。		類型 学級	10
	「文化祭の取組」 ・文化祭活動や当日の計画		(知) 活動の内容や活動の計画を理解することができる。 (思) 活動における改善点を考えてたり、活動の嗜好や楽しさを感じたりする態度を養う。 (学) 友達と協力して活動する態度、集団での活動する際のマナーや心構えを身に付ける。		学級	2
	「2学期の振り返りと冬休みの生活」		(知) 集団の中での自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 自分の現在の生活や学習への取組について振り返り、自立へ向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。		学級	1
2学期授業時数						15
3 学 期	「学級組織作り(Ⅲ)」 ・学級組織作り ・係分担 ・3学期の目標決め ・一年間の振り返り		(知) 3学期の取組内容と学級や学校生活の充実に向けて、自分の目標や学級での役割について知ることができる。 (思) 学級や学校生活をスムーズに行うために、話し合いて自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら課題解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級や学校生活における人間関係をよりよく形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。		学級	2
	「生徒会選挙の取組」 ・立候補者演説 ・投票の仕方を知る。 ・投票 ・委任状渡し		(知) 学校生活の充実ため、生徒会の組織作りを行う生徒会選挙の目的を理解し、選挙の投票の仕方を理解ことができる。 (思) 生徒会選挙の目的を理解し、立候補者の意見を聞きながら自分で判断して投票することができる。 (学) 友達と協働しながら学校生活の充実のために参画しようとする態度を養う。		学部 学級	2
	「ホームルームでの取組(Ⅲ)」 ・学級活動、類型活動の計画 ・学級活動、類型活動の実施		(知) 学級における諸問題について、友達と協働して解決する大切さを理解し、解決方法を知ることができる。 (思) 学級における諸問題について、話し合いて自分の意見を表現したり、友達の意見を聞いたりしながら解決に向けて取り組むことができる。 (学) 学級における人間関係をより良く形成し、友達と協働しながら取り組もうとする態度を養う。		類型 学級	2
	「学部集会(Ⅱ)」 ・3年生を送る会		(知) 集団の中での自分の役割の実現に向けて取り組む意義を理解することができる。 (思) 自分の役割に向けた課題を見出し、課題解決に向けての取組について考えることができる。 (学) 友達と協働しながら学校生活の充実のために参画しようとする態度を養う。		学部 学級	1
3学期授業時数						7
総授業時数						35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第3学年 単一Ⅱ類型		自立活動			
目標	(知) 自分の課題を改善し、自立しながら、社会参加をするための知識や技能を身に付けることができる。 (思) 自己評価や相互評価を行いながら自分の課題を見つめ、支援を求めたり、仲間と協力したりして課題を解決しようとするすることができる。 (学) 卒業後の社会的自立の実現に向け、自分の良さや課題について振り返り、周囲の人と協働しながら改善したり、努力したりする気持ちを養う。				
期	単元名・指導内容		単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「個別課題」		(知) 自立と社会参加をするために必要な知識や技能の中で、自分の課題となるものに取り組むことができる。 (思) 自分の課題を解決するために自ら工夫したり、支援を求めたり、仲間と協力したりすることができる。 (学) 自分の課題に対する取組を振り返り、良さや改善点を確認し、次に生かそうとする気持ちを養う。	学級 個別	7
	「作業学習に必要な動作を身に付けよう」 【5身体の動きー(5)】 ・目と手の協応動作、手足の協調運動 ・ビジョントレーニング		(知) 作業を進めるにあたって必要な手指の巧緻性や持続性を高めることができる。 (思) 自分の課題を知り、改善を図るために最後まで取り組むことができる。 (学) 自分の良さや課題について知り、改善をしたり努力したりする気持ちを養う。		6
	「仲間と気持ち良く過ごすために」 【2心理的な安定ー(1)】 ・気持ちを伝える言葉、リラクゼーション ・気持ちの切り替え、ミニゲーム、トーキングゲームなど		(知) 気持ちを表現する言葉や自分の気持ちを落ち着かせる方法を理解することができる。 (思) 気持ちを表現する言葉や自分が落ち着ける方法を活用し、仲間とともに安心して過ごすことができる。 (学) 自分の状況を理解し、自ら対応できる力を養う。		6.5
Ⅰ学期授業時数					19.5
2 学 期	「個別課題」		(知) 自立と社会参加をするために必要な知識や技能の中で、自分の課題となるものに取り組むことができる。 (思) 自分の課題を解決するために自ら工夫したり、支援を求めたり、仲間と協力したりすることができる。 (学) 自分の課題に対する取組を振り返り、良さや改善点を確認し、次に生かそうとする気持ちを養う。	学級 個別	8
	「自分をコントロールしよう」 【3人間関係の形成ー(3)】 ・アンガーマネジメント		(知) 自分の気持ちを理解するために可視化し、集団の中で状況に応じた行動をとることができる。 (思) 学習を通して自己状態を分析したり、行動を調整したりすることができる。 (学) 自分の状態を理解し、自ら対応できる力を養う。		7
	「運動を習慣化しよう」 【1健康の保持ー(5)】 【身体の動きー(1)】 ・体幹トレーニング ・リラックス運動 ・ランニング ・ラジオ体操第1、第2		(知) 日常生活や就労に必要な動作の基本となる姿勢保持や体幹を鍛える基本的技能を身に付けることや、体力を付けることができる。 (思) 日常生活における適切な健康の自己管理を行うことができる。 (学) 自分の姿勢保持や運動・動作における課題を理解し、自ら対応できる力を養う。		7.5
2学期授業時数					22.5
3 学 期	「個別課題」		(知) 自立と社会参加をするために必要な知識や技能の中で、自分の課題となるものに取り組むことができる。 (思) 自分の課題を解決するために自ら工夫したり、支援を求めたり、仲間と協力したりすることができる。 (学) 自分の課題に対する取組を振り返り、良さや改善点を確認し、次に生かそうとする気持ちを養う。	学級 個別	6
	「正しい言葉を知り、活用しよう」 【6コミュニケーションー(3)】 ・言葉集め、説明しりとり等のミニゲーム ・コミュニケーションスキル、すごろく		(知) 言葉の意味、正しい文章を知り、自己の行動等に対応した言語の概念の形成を図ることができる。 (思) 言葉の意味を正しく理解し、コミュニケーションをとる中で適切に使うことができる。 (学) 相手とのやり取りを円滑に行い、積極的にコミュニケーションを取ろうとする気持ちを養う。		4.5
3学期授業時数					10.5
総授業時数					52.5

学部・学年 類型		教科等	教科書		
高等部 第3学年 単一Ⅱ類型		総合的な探究の時間	①「ひとりだちするための進路学習」（日本教育研究出版）		
目 標	(知)働くことに対する関心を高め、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けることができる。				
	(思)自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、より良く問題を解決する資質や能力を育てる。				
	(学)学び方や物の考え方を身に付け、問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組む姿勢を学び、自己の生き方を考えることができる。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	「進路学習」 ・年間計画 ・職場実習事前学習	①	(知)進路学習において1年間の学習予定について知り、活動に見通しをもつ。 (思)将来の生活について、考えようとする態度を養う。 (学)よりよい将来の生活の実現に向けて、取り組もうとする態度を養う。	類型	1
	「職業相談に向けて」	①	(知)社会人として適切な身だしなみや言葉づかい、態度などについて知ることができる。 (思)社会人として適切な身だしなみや言葉づかい、態度などを他者と協働しながら考えることができる。 (学)社会生活の場面に応じたロールプレイングを行うことで実践的な態度を養う。	類型 学級	1
	「出島グリーン作戦」（1）		(知)学校や地域にある課題を見付け、学校や地域のためにできることについて考えたり、活動したりすることができる。 (思)より良い活動にするために意見を伝える、情報を収集・分析する、改善案を考えるなどの活動を行うことができる。 (学)課題解決に向けて主体的・協働的に活動し、充実した活動にしようとする態度を養う。	学年 類型 学級	7
	「サークル活動」		(知)各サークル活動において、活動の流れやルール・用具の使い方を理解することができる。 (思)活動における改善点を考えたり、活動の嗜好や楽しさを感じたりする態度を養う。 (学)仲間と協力して活動する態度、また、集団で活動する際のマナーや心構えを身に付ける。	類型 学級	4
Ⅰ学期授業時数					13
Ⅱ 学 期	「出島グリーン作戦」（2）		(知)学校や地域にある課題を見付け、学校や地域のためにできることについて考えたり、活動したりすることができる。 (思)より良い活動にするために意見を伝える、情報を収集・分析する、改善案を考えるなどの活動を行うことができる。 (学)課題解決に向けて主体的・協働的に活動し、充実した活動にしようとする態度を養う。	学年 類型 学級	5
	「国際理解学習」		(知)世界の文化に触れることで、国際理解学習の必要性について知る。 (思)世界の言語や音楽、食文化などを知り、見聞を広める。 (学)国際理解学習について興味関心を深める。	類型 学級	2
	「卒業後の生活を考えよう」	①	(知)卒業後の生活の場に関して特徴などを大まかに理解できる。 (思)自分の将来の生活について大まかにイメージし、考えることができる。 (学)将来の生活に必要な課題に取り組もうとする態度を養う。	類型 学級	4
	「卒業証書授与式の取組」		(知)卒業証書授与式の流れや卒業証書の受け取り方、「卒業生旅立ちの言葉」について理解し、見通しをもって活動することができる。 (思)自分の活動内容とポイントを意識しながら、卒業証書授与式の練習を行うことができる。 (学)学生生活の集大成として、立派に成し遂げようとする態度を養う。	学年 類型 学級	4
Ⅱ学期授業時数					15
Ⅲ 学 期	「卒業証書授与式の取組」		(知)卒業証書授与式の流れや卒業証書の受け取り方、「卒業生旅立ちの言葉」について理解し、見通しをもって活動することができる。 (思)自分の活動内容とポイントを意識しながら、卒業証書授与式の練習を行うことができる。 (学)学生生活の集大成として、立派に成し遂げようとする態度を養う。	学年 類型 学級	5
	「進路報告会」		(知)実習における目標の達成割合の自己評価の方法を知ることができる。 (思)実習の報告を通して、働くために必要な力について、他者との交流しながら考えることができる。 (学)将来の職業生活に向けて、自己の課題について取り組もうとする態度を養う。	類型 学級	1
	「進路学習」 ・1年間のまとめ ・同窓会について	①	(知)卒業後の生活の場に関して特徴などを大まかに理解できる。 (思)自分の将来の生活について大まかにイメージし、考えることができる。 (学)将来の生活に必要な課題に取り組もうとする態度を養う。	類型	1
Ⅲ学期授業時数					7
総授業時数					35